

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 22 日

事業名称		下水道事業会計 [排水設備等修繕委託]							
予算科目	款 1	下水道事業費用	項 1	営業費用	目 1	管渠費	事業番号		
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	下水道		課		庶務		係	課長名	廣瀬 裕
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1	
【施策名】 市街地の整備							総合計画書 (ページ)	83	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 土日祝日等に排水設備の修繕が必要となった市民				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 土日祝日等に排水設備の修繕が必要となった市民からの問い合わせ件数 →				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 不具合の発生した排水設備を修繕し、市民生活に不便が生じないようにする。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 紹介件数 →				
	③ そのために何をしましたか。 東大和市下水道組合と委託契約を結び、問合せのあった市民に対し対応可能な業者の紹介をした。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 紹介件数 6件/年 →				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	箇所	4	8	6			
	成果指標	②の数値	件	4	8	6			
	目 標	②の目標値							
		目標値設定の考え方							
3 経費	事業費(実績)		円	434,511	460,845	446,215	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円						
		特定財源(国・都・他)	円	434,511	460,845	446,215			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人						
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	0	0	0			
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	434,511	460,845	446,215				
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成10 年度								
	(2) 環境の変化								

事業名称	下水道事業会計 [排水設備等修繕委託]			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	修繕に関する問い合わせ件数が少ない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	市報による周知。排水設備の不具合問い合わせに対しては、市内指定工事事業者を紹介した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
営業外日土日祝日の修繕に関する問い合わせ件数が少ない。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 市街地の整備				
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】			
	排水設備の突発的な不具合に対する事業のため、利用実績は多くないが、市民生活の利便性の観点からは必要なサービスであるため継続して実施していく。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
事業を理解いただくため、いっそうの周知を図る。				